

川口市災害時要援護者登録制度

災害が起きたとき、私たちはさまざまな情報を集め、判断し、自分や家族の安全を確保しなければなりません。しかし、自力で避難することが困難で、身を守るために周りの人の助けが必要な高齢者や障害者のかたなどの「災害時要援護者」が犠牲となるケースが多くあります。そこで市では、災害時要援護者を行政と地域の関係機関が連携して支援するため、「川口市災害時要援護者登録制度」を開始しました。



災害時要援護者登録制度とは

災害時に支援が必要な高齢者や障害者、要介護認定者などの「災害時要援護者」に該当するかたが市に登録した情報を地域の関係機関に提供し、実際に災害が起きたときに、その登録情報を基に安否確認や避難支援活動などを行う制度です。

災害が発生してから地域の要援護者を把握するのは、支援活動が遅くなってしまう可能性があります。そこで、あらかじめ登録制度に登録することで、災害時に速やかに支援を行うことができます。

災害時要援護者とは

在宅の高齢者や障害者、要介護認定者で、災害時に一人で避難できない可能性が高く、家族などの支援を得られない恐れのあるかたで、次のいずれかに該当するかたです。

- ① 市内に居住する65歳以上の単身高齢者・高齢者のみの世帯のかた
- ② 市内に居住し、次の障害者手帳を所持する単身者・障害者のみの世帯のかた
 - ア 身体障害者手帳1～3級
 - イ 療育手帳(A・A)
 - ウ 精神保健福祉手帳1・2級
- ③ 市内に居住し、要介護認定を受けた単身者・要介護認定者のみの世帯のかたで、要介護3～5の認定を受けたかた

地域の関係機関とは

各地域の民生委員・児童委員や消防団、自主防災組織(自主防災組織がない地域は町会・自治会)、社会福祉協議会のことです。これらのうち、登録情報を適正に管理し、災害時要援護者の避難支援以外の目的には使用せず、かつ個人情報守秘義務を遵守する誓約書の提出が市にあった機関にのみ情報を提供します。

登録方法

市で把握している該当者のかたには、すでに市から「外部提供意向確認書」を郵送しています。確認書が届いていなくても該当すると思われるかたは、「災害時要援護者登録申請書兼同意書」の提出が必要になりますので、問い合わせください。

問い合わせ

- ①の高齢者のかた…長寿支援課 ☎259-7652
- ②の障害者のかた…障害福祉課 ☎259-7920
- ③の要介護認定3～5のかた…介護保険課 ☎259-7294